

## 音楽療法とは？

音楽の療法的特長を活かし日常生活上の問題解決を目指す療法

例えば

他の音に合わせて弾くことで：人を受け入れる気持ちを育む

音楽に合わせて体を動かすことで：体幹を鍛える

楽譜を見ながら最後まで弾くことで：集中力を高める

歌を歌うことで：発音を明瞭にする・言葉を覚える

\* このように、社会性・運動・認知・情緒領域などの目標を定めて音楽を使います。

## 音楽の療法的特長 子ども編

1. 音楽の楽しさが**動機づけ**に 「楽器を弾くと音が出た！」ならば、もう1回やってみよう！
2. **言葉を使わない**コミュニケーションが可能  
リズムに合わせて太鼓を叩くのに言葉はいりません。  
ここが他の療法との大きな違いです。
3. 音楽活動が生み出す**感覚刺激**は成長を促す

ねらいを定めて楽器を使うと「脳の栄養」になります。私たちは、この**感覚統合の考え方**を活かして実践をしています。

## 音楽療法実践

### のご案内 by

ホリスティック音楽療法の会

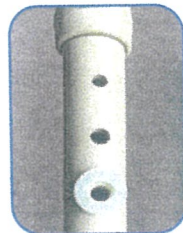
## 実践例



卓上ベルで色楽譜を見ながら演奏し、集中力を高め、手を器用にします



1本脚の椅子に座り、動かされる太鼓を叩きながら、姿勢や体幹を鍛えます



触覚に鈍感だと指孔を塞ぐのが困難ですが、ドーナツシールを貼ると触った感じがわかりやすいです

指人形を付け自作の歌に合わせて手を動かし、指の分離運動能力を高めます



## 詳しく知りたい方は



ホリスティック音楽療法の会 代表 柿崎次子

Email [tsugiko26@yahoo.co.jp](mailto:tsugiko26@yahoo.co.jp)

ブログ <https://ameblo.jp/si-mt/> までどうぞ！

## 柿崎次子 プロフィール

米国シャナンドア大学大学院を卒業後、くらしき作陽大学准教授、作陽音楽短期大学教授、大和大学教授を経て、現在はホリスティック音楽療法の会の代表として各地で講習会講師を務めるほか、非定型発達の子どもたちと実践をしています。